

### 13. 徒歩帰宅支援のためのみちづくり

#### 整備の内容

大規模災害に備え、徒歩帰宅者を支援するため、交差点スペースを有効利用した休憩場所や、LED照明灯等により安全かつ円滑に歩行、誘導できるみちづくりの整備（※防災セーフティーロード）を行うとともに地元市町村、地域住民や沿道企業と連携を図り、地域ぐるみの本格的な災害活動の実施ができる「みちづくり」を目指します

#### ※防災セーフティーロードとは？



○面的（エリア）整備：交通島や、道路に面する市有地・企業提供地を利用した整備です。

●レスキューベンチ  
平常時はベンチとして活用。災害時に救助活動などに必要な道具等を収納



●雨水貯留型緑化工法  
特殊な貯水箱を連結して芝生の下に設置し、ゲリラ降雨への対策や、災害時にはこの貯留水をトイレの流し水や手洗い水などに活用できます



○線的（ライン）整備  
コンビニ前やバス停など既存道路のスペースを利用した整備です。

●ソーラー付き青白色LED照明灯  
平常時は、ソーラー等により電気をバッテリーに蓄え夜間照明に活用  
災害時（特に停電時）は、災害活動支援や帰宅困難者の夜間誘導を行います

●災害用マンホールトイレ  
災害時にトイレを使用できるように特殊な災害用マンホールを設置し、その中に、トイレ用テント、便座などを備蓄します

#### 整備路線選定の考え方

整備路線については、災害時における府域、府県の生命線である広域緊急交通路及び帰宅困難者支援ルートが重複する6路線（R423号、大阪高槻京都線、京都守口線、R308号、R310号、大阪和泉泉南線）とし、整備区間については、上町断層帯震源予想地から徒歩帰宅が可能である半径20km以内としています

## 【地域レベルの防災活動を支える施策】

### 整備状況と今後の計画

#### 徒歩帰宅支援のためのみちづくり

平成19年度末

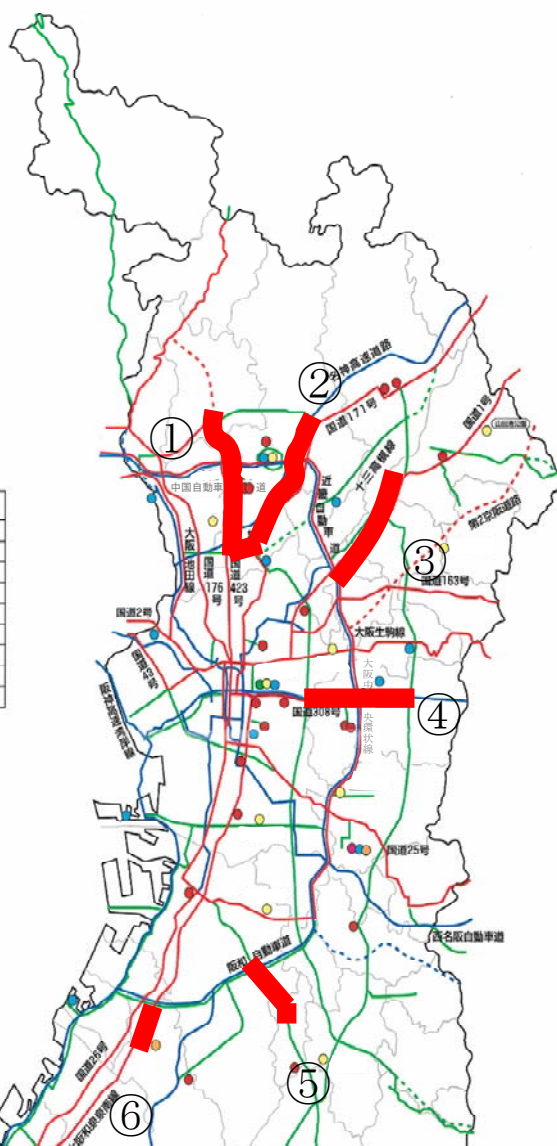
2路線/6路線（大阪高槻京都線、大阪和泉泉南線）

平成29年度末

6路線/6路線（上記の他 国道423号、京都守口線、国道308号、  
国道310号）

#### 事業実施箇所図

凡 例		
広域緊急交通路	自動車専用道路	—
	一般道路	重点14路線 その他
主要互 助拠点	広域防災拠点	●
	後方支援活動拠点	●
	輸送基地	●
陸上自衛隊駐屯地	●	
災害拠点病院	●	
大阪府庁	●	



広域緊急交通路、帰宅困難者支援ルートが重複かつ、上町断層帯震源地から放射状、府が管理する路線

6路線（①R423号、②大阪高槻京都線、③京都守口線、④R308号、  
⑤R310号、⑥大阪和泉泉南線）